

横浜市初のスムーズ横断歩道を設置しました

～緑区中山町地区におけるビッグデータを活用した安全対策～

緑区中山町地区において、地域からの要望を受け、ETC2.0ビッグデータから速度超過や急ブレーキが多発する生活道路を特定し、平成30年度から地域と一体となって交通安全対策の検討を行ってきました。

平成30年11月に1か月間の実証実験を行い、速度抑制や横断歩道での車両停止が確認できたため、スムーズ横断歩道などの安全対策を本施工し、令和2年3月に完成しました。

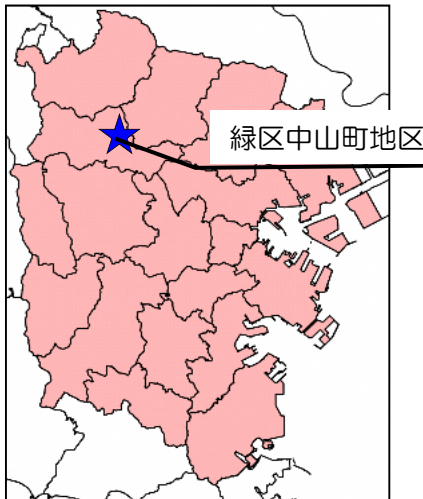
これにより、対策区間における歩行者の安全性が向上します。

■場所： 緑区中山町地区(住所:緑区中山二丁目・三丁目)

■内容： スムーズ横断歩道:2箇所
狭さく:1箇所

ハンプ:2箇所

交差点カラー舗装:1箇所



位置図



【スムーズ横断歩道】

横断歩道を歩道の高さまで上げることで、ドライバーが認識しやすくなり、車両の速度を低下させ、歩行者が安全に横断できます

スムーズ横断歩道設置状況

*対策内容の詳細については、裏面をご覧ください。

お問合せ先

(取組について)道路局施設課長	櫻井 暁人	TEL 045-671-3557
道路局施設課担当課長	鈴木 禎晃	TEL 045-671-2730
(施工について)緑区緑土木事務所副所長	川崎 哲治	TEL 045-981-2100

裏面あり

○対策内容

地域の方々の意見等を踏まえ、実証実験時に実施した対策内容や対策位置を一部変更し、本施工しました。

ハンプ(2箇所)

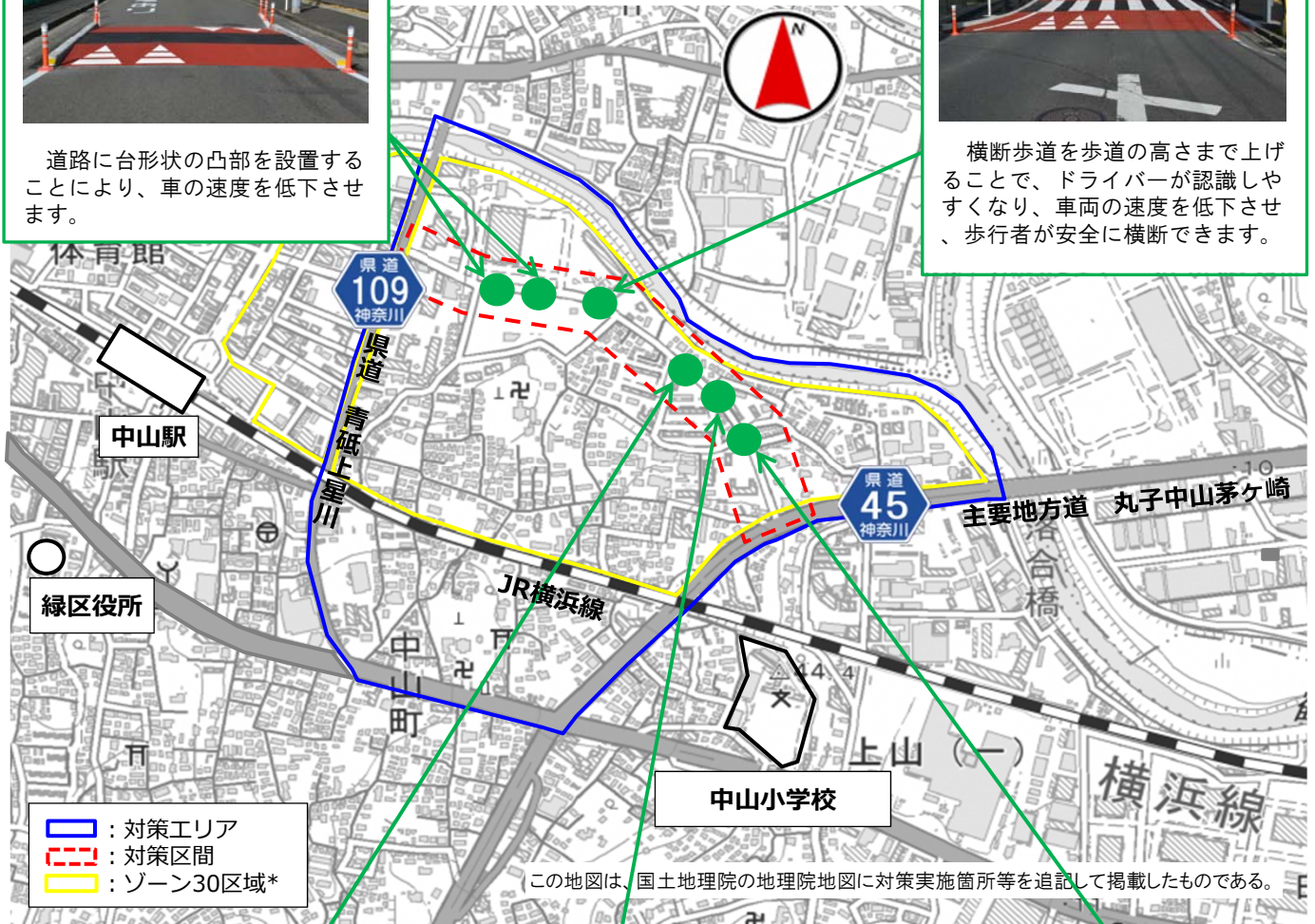


道路に台形状の凸部を設置することにより、車の速度を低下させます。

スムーズ横断歩道



横断歩道を歩道の高さまで上げることで、ドライバーが認識しやすくなり、車両の速度を低下させ、歩行者が安全に横断できます。



この地図は、国土地理院の地理院地図に対策実施箇所等を追記して掲載したものである。

スムーズ横断歩道



狭く



道路を狭くすることにより、すれ違わず、ゆずりあうことで車の速度を低下させます。

交差点カラー舗装



交差点内を赤く塗ることにより、ドライバーに注意喚起します。

*ゾーン30とは・・・

区域（ゾーン）を定めて時速30キロの速度規制を実施するとともに、生活道路における歩行者や自転車の安全な通行を確保することを目的とした交通安全対策の一つです。